



内川橋が災害に強く安全になりました

記者発表資料

内川橋が80年ぶりに生まれかわります。

○ 国道16号内川橋は、大正15年に架橋した老朽橋

- ・阪神大震災の教訓を踏まえ、災害に強い道づくりを進めるため、平成12年に架け替え工事に着手。
- ・平成18年11月26日(日)朝、架け替えた新しい橋の車道が完成。
(前日の車線切り替え工事が雨天の場合は順延予定)



○ 架け替えによる効果

- ・地震などの災害に強い橋になります。
- ・内川橋交差点の安全性の確保、交通渋滞の緩和が期待できます。

○ 今後の取り組み

- ・引き続き新しい歩道の工事を行い、平成18年度中に完成する予定です。

平成18年11月24日
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、 神奈川建設記者会、 横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ、 横浜市政記者会、 横浜ラジオ・テレビ記者会

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 045-311-2981 (代表)
計画課長 どひ まなぶ 土肥 学 内線 451
工務課長 あさこ かつひさ 浅古 勝久 内線 411

○ 国道16号内川橋は、大正15年に架橋した老朽橋

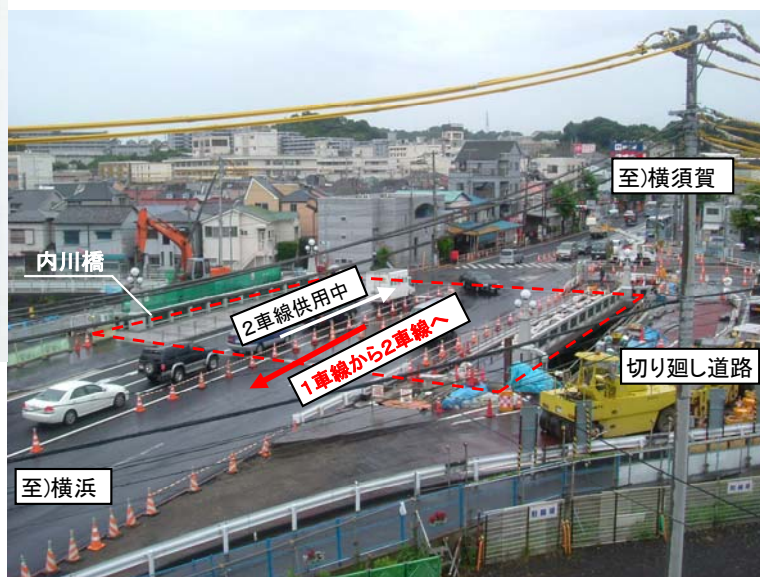
・阪神大震災の教訓を踏まえ、災害に強い道づくりを進めるため、平成12年に架け替え工事に着手。

・平成18年11月26日(日)朝、架け替えた新しい橋の車道が完成。
(前日の車線切り替え工事が雨天の場合は順延予定)

○ 位置図



○ 現在の内川橋



○ 内川橋経歴

大正15年	架橋
昭和19年	拡幅工事
昭和46年	耐力不足に伴うモルタル吹きつけの補修
昭和63年	転落防止柵の設置
平成12年	架け替え工事着手



平成元年の内川橋



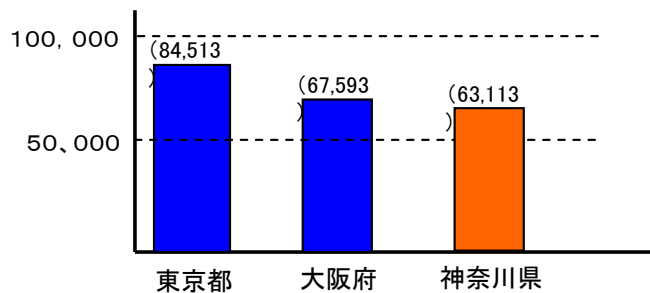
架け替え前の内川橋の主桁
(鉄筋の露出)

○ 架け替えによる効果

- ・地震などの災害に強い橋になります。
- ・内川橋交差点の安全性の確保、交通渋滞の緩和が期待できます。

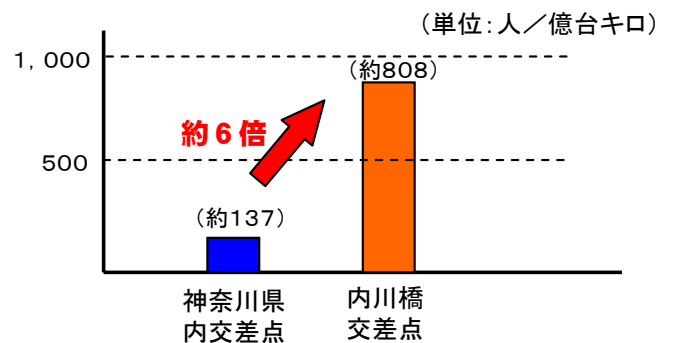
① 神奈川県は死傷事故件数が多い

都道府県別死傷事故件数ワースト3
(平成16年)



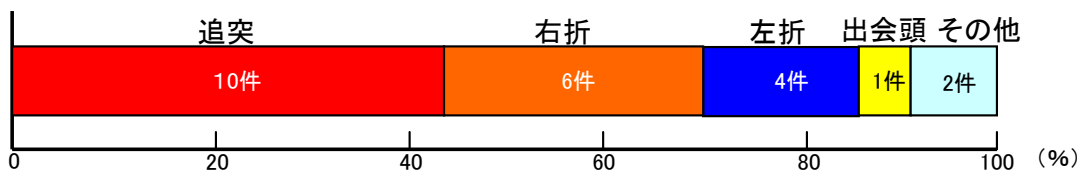
② 内川橋交差点の死傷事故率は、神奈川県内交差点平均の約6倍

神奈川県内交差点と内川橋交差点の
平成13～16年の平均死傷事故率

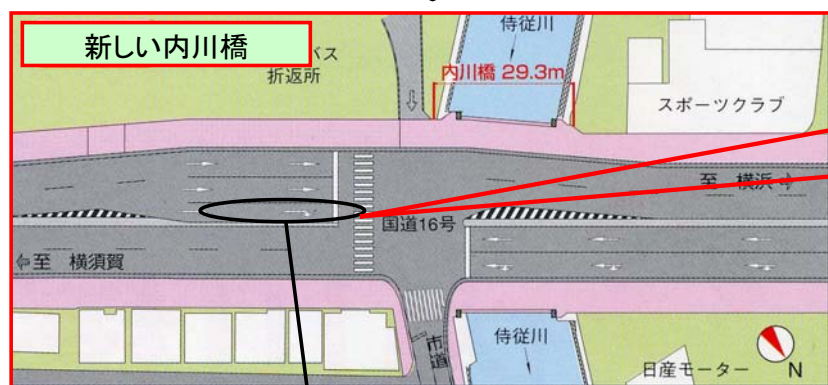
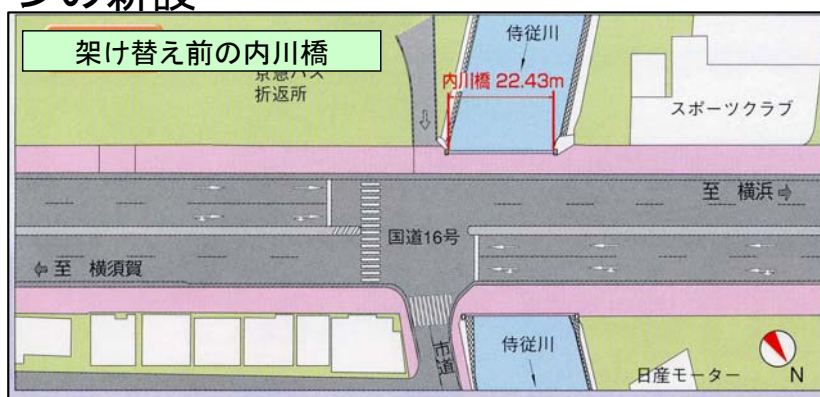


③ 内川橋交差点は追突・右折事故が多発

内川橋交差点の平成13～16年の車両相互事故件数



④ 右折レーンの新設



右折レーンを新設することにより安全に曲がることができます。

右折レーンの新設

○ 今後の取り組み

- ・引き続き新しい歩道の工事を行い、平成18年度中に完成する予定です。

○今後、横浜方面行きの歩道舗装工事をを行います。



今後舗装を行う
横浜方面行き



歩道が完成した
横須賀方面行き

○ 今後、国道16号のトンネルの改修を行います。

内川橋より南側の横須賀地区16号には、断面が狭く老朽化が進行しているトンネル(新吉浦トンネル、新田浦トンネル、新船越トンネル、新浦郷トンネル)があり、改修により安全性の確保を図っていきます。



新船越トンネル



新田浦トンネル

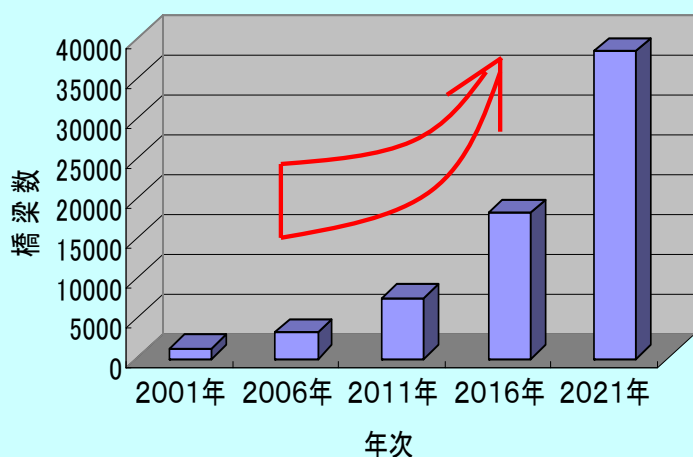
(参考)

- ・ 内川橋をはじめ、横浜国道事務所管内において老朽橋が今後増加。
- ・ 既存の道路橋を適切に維持管理し、耐久性の向上を図り、有効に活用していくことが課題。

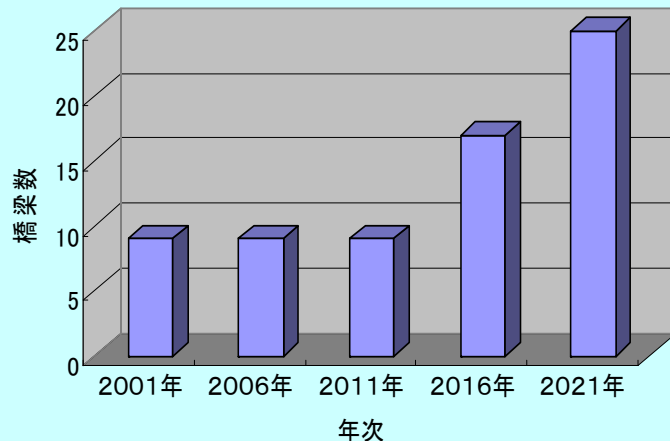
○ 老朽橋が増加

- ・ 全国的に、老朽化する橋梁が加速度的に増加。
- ・ 横浜国道事務所管内で、今後、建設後50年以上の橋梁が増加。

全国の建設後50年以上の橋梁数



横浜市内にある横浜国道事務所管理の建設後50年以上の橋梁数

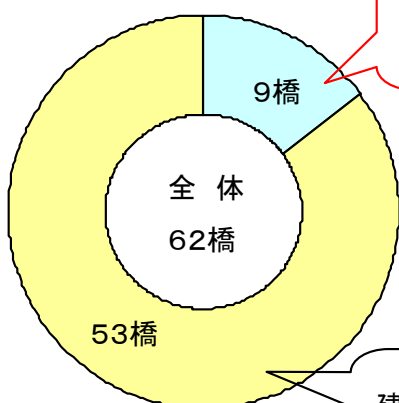


〈資料〉(財)海洋架橋・橋梁調査会「道路橋マネージメントの手引き」
平成16年8月

○ 既存橋の長寿命化へ

適切な補修を行うことで、橋梁の延命化による経済的な道路管理を行います。

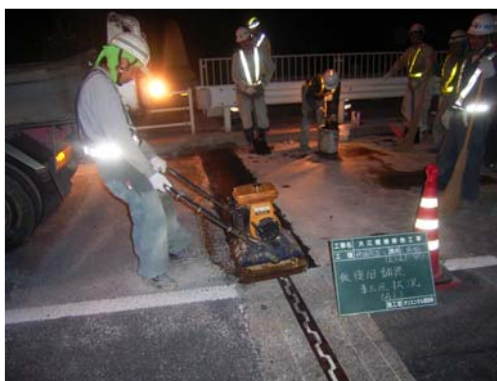
横浜市内にある横浜国道事務所管理の橋梁数内訳



※橋長10m以上を対象

建設後50年以上経過した橋梁数

建設後50年未満の橋梁数



・ 平成17年度に内川橋と同じ年次に建設した六浦橋のジョイント補修工事

・ 平成17年度に実施した梶ヶ谷高架橋の断面修復工事

